

2020 年度 会員拡大研修委員会 事業報告

担当副理事長	子野日 円 美	委 員 員	古 内 秀 和
委 員 長	細 川 拓 也		松 井 崇
副 委 員 長	最上田 晶		生田 健 (賛助)
幹 事	水 谷 舞		鈴木 泰裕 (賛助)
委 員	伊 藤 孝 博		高木 祐也 (賛助)
委 員	黒 川 凌		福岡 美晴 (賛助)
委 員	菅 原 京 子		

1 年を終えて

今年度、会員拡大研修委員会では会員拡大目標を 15 名と掲げ、その目標達成のために、会員自身の資質向上が不可欠であるという考え方のもと、内部向けの研修事業にも力を注ぎ、1 年間を進んでいくこととしていました。結果として、正会員 5 名、賛助会員 2 名の入会実績となり、残念ながら目標には及びませんでした。

しかし、例年と違った取り組みとして、「拡大が絶対に成功する 5 か条」の作成、また会員拡大状況をリアルタイムで会員メンバーと共有するために導入した Google スプレッドシートの有用性を確認できたことは大きな成果でした。11 月例会の実施により、新たな会員候補者の発掘ができたことも、次年度以降に向けて更なる会員増強が期待できる好材料になりました。

これらのことから、新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に各 LOM が会員拡大活動に過去類を見ないほど苦戦をしている中で、ある一定の成果は残せたのではないかと感じています。しっかりと次年度以降へ引継ぎを行い、新しく策定された 2021 年度運動指針に掲げる会員数 50 名という目標を達成できるよう、委員会メンバーだけが行動するのではなく、会員増強は通年課題であるということを共通認識として、会全体で毎年モチベーションを高く維持しながら動き続けなければならないと強く感じました。

他に、仮会員研修資料を新たに刷新し、見やすくわかりやすい内容にブラッシュアップを図りました。毎年のように当会のおかれている状況も変化を続けていることから、次年度以降も常にアップデートを重ね、新入会員がより青年会議所の運動と活動を理解し、資質の高い JAYCEE として行動できるバイブルを委員会として提供し続けていくことが重要だと感じました。

■1 月例会「新春祝賀会」について

年度の始まりの事業となる本例会は、日ごろいつもお世話になっている地域の皆様、各地会員会議所の仲間たち、そして OB・OG の皆様に対し、津村理事長を中心に横手青年会議所の 1 年間のスローガン、運動方針をお伝えする大変重要度の高い例会です。通年事業となっているとは言え、多くの御来賓へ失礼のないように委員会メンバーのみならず、執行部の皆様を中心にご協力をしていただき、設えを整えました。今年度は、40 周年という節目に向かう重要な年度であり、今後も青年会議所運動を紡いでいく為、引き続きのご協力を参加者の皆様にお伝えし、深い理解をいただくことができました。

■11月例会「今、これから、横手で『はたらくコト』会議」について

様々なジャンルで活躍をしている3名の方に講演をいただいたことで、地域で働くことについて多角的な視点からものごとを考えるきっかけを提供することができました。

事業後に行ったアンケートの結果によると、事業に対して「満足」「やや満足」と回答をした参加者は全体の95%以上、仕事の悩みに対して、解決の道に繋がるヒントはあったかどうかの問いに対しては「大いにあった」又は「少しだけあった」と回答した参加者が合わせて85%を超える結果となり、事業の満足度の高さが窺える結果となりました。

また、当会のイメージアップに繋がったかを調査する設問では、約6割の方からイメージが良くなったと回答いただき、今後当会から事業の告知があった場合、参加をしたいかどうかという設問に対しては「参加したい」又は「出来れば参加したい」と回答をした方が全体を占めました。以上の結果から、当会が地域の課題解決の道を模索し、自己成長を促す団体であることを周知でき、全体を通じて、当会のイメージアップに繋げることができた事業となりました。

事業報告

事業開催日	事業名	開催場所
1月27日	1月例会「新春祝賀会」	松與会館 2階 末広の間
11月20日	11月例会「今、これから、横手で『はたらくコト』会議」	欧風創作料理 バル・パサポルテ

会議報告

会議開催日	会議名	開催場所
2019年11月1日	第1回委員会	横手商工会議所 3階 会室
12月14日	第2回委員会	横手商工会議所 3階 会室
12月23日	第3回委員会	横手商工会議所 3階 会室
2020年1月19日	第4回委員会	横手商工会議所 3階 会室
1月30日	第5回委員会	横手商工会議所 3階 会室
2月17日	第6回委員会	横手商工会議所 3階 会室
2月20日	第7回委員会	横手商工会議所 3階 会室
3月24日	第8回委員会	横手商工会議所 3階 会室
5月5日	第9回委員会	オンライン (ZOOM)
6月24日	第10回委員会	オンライン (ZOOM)
7月14日	第11回委員会	横手商工会議所 3階 会室
8月17日	第12回委員会	横手商工会議所 3階 会室
9月7日	第13回委員会	横手商工会議所 3階 会室
9月23日	第14回委員会	横手商工会議所 3階 会室
10月19日	第15回委員会	横手商工会議所 3階 会室

11月12日	第16回委員会	横手商工会議所 3階 会室
11月18日	第17回委員会	欧風創作料理バル・パサポルテ
12月16日	第18回委員会	オンライン (ZOOM)

反省点及び申し送り事項

■1月例会「新春祝賀会」

【評価点】

- ・ 他 LOM の新春事業に積極的に参加し、内容を参考にすることで、事業に活かすことができました。特に（公社）北上青年会議所の設えを参考にしました。
（詳細は、（事業当日）に記載）
- ・ 特別会員へ向けて、理事長を中心として全会員で積極にご案内できたことで、昨年の OB 参加者人数 16 名を大きく上回り、29 名という参加をいただくことができました。
- ・ 理事・事務局（木匠一公さん・高橋朋子さん）に名簿を確認してもらい、精査できたことで、正確なご案内をすることができました。

（事業当日）

- ・ 受付時、多くの参加者と面識のある会員を配置することにより、スムーズにご案内を行うことができました。
- ・ 乾杯まで、会員には起立した状態で待機してもらうことにより、おもてなしをする姿勢を示すことができました。
- ・ 式次内容をプロジェクターに映したことで、進行状態が伝わりやすく、ステージに注目していただくことができました。
- ・ 役員紹介の際、例年と違った設えをすることで、参加者にしっかりと聞いていただける内容になりました。
- ・ 全会員で、積極的に出席者のお酌へ回れたことで、より良いおもてなしができました。
- ・ 当日、急な席の増減にも対応していただけるように、会場側にも事前にお話をしていたことで、予定していなかった特別会員の参加を、お待たせすることなく席へご案内することができました。

【改善点】

- ・ 当日、席札の記載に誤りがいくつかありました。前もって確認するメンバーは 1 人ではなく、2 人以上にして、二重チェックが必要です。（委員長・担当副理事長は必須。今年度は監事にもチェックしていただき、当日に差し替えがありました。）
- ・ 当日、参加名簿に無かった特別会員が、急遽 2 名参加となりました。FAX の受信履歴の見落としがないか、口頭で参加申し込みがなかったか等、間違いのない精査が必要です。
- ・ 参加者名簿は最終更新をしたものをしっかり来年度に引き継ぐことが必要です。

（事業当日）

- ・ 特別会員の中でも、来賓として出席された方へ、会員名簿のお渡しができずに、後日郵送という形になりました。来賓リストの中にも、特別会員なのか、そうでないのか見分けがつくように工夫が必要です。
- ・ 祝電披露を乾杯後に行ったことにより、歓談等でお話が伝わりづらい状況になっていました。歓談時間は十分に取れていたと感じたので、乾杯前に行くなどして、聞いてもらえる態勢を作ることが必要です。
- ・ 会員の席では、参加者へお酌をしに行く方が大半だったこともあり、ほとんどの料理が残ってしまいました。会員のみの席は、料理の量を少なくするなどの検討が必要です。

■11 月例会「今、これから、横手で『はたらくコト』会議」

【評価点】

- ・ 委員会メンバーだけでなく、全会員に協力をしていただき、参加目標を達成させることができました。
- ・ 事前に会場側に依頼を行い、リハーサルを実施したことで当日の進行に役立てることができました。
- ・ 第一部から、第二部に繋がる流れもシナリオを何度も確認することでお酒の提供をスムーズに行うことができました。
- ・ 事業全体の設えとして、堅苦しくない雰囲気を作り出すことができました。
- ・ 講師選定について三者三様の特徴を持つ方々をお願いをしたことで、参加者の皆様に飽きることなくお話を聴いていただくことができました。

【改善点】

- ・ 第二部では、お酒をお代わりするタイミングがとりづらい雰囲気がありました。こちらからご案内をするなどの配慮が必要でした。
- ・ お店のレイアウト上、講師やスクリーンが見えづらい場所がありました。講師の立ち位置が統一できていなかったことも要因のひとつであったと感じます。また、予想以上の参加をいただいた影響から、店内後方の座席に座った方にはステージがやや遠かったのも、対策を考えておく必要があります。
- ・ 懇親会の席などで、名刺交換タイム等の時間があればより良かったのではないかと感じました。
- ・ 参加者の方の中には、例会の趣旨を把握されていない方もおりました。ただ参加して終わりということにならないよう、事前にご案内等でしっかりとご説明を行い、事業の内容に興味がある方をお誘いできるよう勧誘方法を考える必要がありました。
- ・ 講演資料は事前にひとつのデータにまとめておくことで、スムーズな進行に繋がると感じました。